

9. 名張の祭り

1. 名張の伝とう的な祭り ～名張秋祭り～

「チョーサ、チョーサ」名張の町に、にぎやかな声がひびきわたります。今日は「名張秋祭り」の日です。色あざやかな「みこし」や「たいこ台」などが、町中をねり歩きます。



町中をねり歩くみこし

名張の各地区で行われる秋祭

りは、その年のほう作への感しゃの気持ちをこめて、10月の中ごろから1か月の間に行われています。「名張秋祭り」は、名張市平尾にある「宇流富志禰神社」の秋祭りで、町の出し物や屋台もたくさん出て、市内でもたいへんにぎやかな祭りのひとつです。

神社の氏子は、4つの地区に分かれ、それぞれの地区に「町講」「平尾講」「南出講」「北出講」という祭りの組しきがあります。そして毎年交代で、それぞれの講の人の中から当番役の「当屋」を決めて、祭りを行います。

9月末には、4つの講の当屋がよい宮の「お渡り」の順番を決めるくじ引きが行われ、一番くじを引いた当屋は、その年の祭りの代表かとなります。



江戸時代につくられた地車

祭りの1週間前になると、それぞれの当屋は、しめなわをつけた笹竹を建て、「御仮屋」を置いて「神様」をおまつりしま

す。この日から、神社の神様はみこしにうつされ、新町にある「神様のお休み所（お旅所）」に置かれます。

よい宮の日のお渡りは、祭りの主役となる「年頭子」を先頭に、かみしもを着て耳に刀に見立てたはしを1本さした講の人たちが行列を組み、「ネンド、ネンド、ワーイ」と声をかけながら、お旅所から



お渡りの様子

神社へと向かいます。神社のけい内には、それぞれの講の人が作った4本の大松明がもやされ、ししまいがまいます。たくさんのお参りに来て、とてもにぎわいます。

次の日は、いよいよ本祭りの日。「チョーサ、チョーサ」のかけ声とともに、みこしやたいこ台、地車などが市内をめぐる。ほかにも、七福神なども出て、とてもにぎやかです。最近では、祭りを盛り上げるため、ショッピングセンターのちゅう車場に、それぞれの町の出し物が一堂に集まり、よりたくさんのお参りに見ってもらえるような工夫もされています。

名張秋祭りは、ほう作や元気にすごせることへの人びとの感しゃの思いや願いがこめられて、昔から今まで続いてきています。しかし、だんだん子どもの数がへり、年頭子になる子どもがいなくなってきました。そのため、1けん当屋で祭りを行うことがむずかしくなり、たとえば、平尾講では、3けん一組を当屋として祭りを行うようにしています。

また祭りの日も、今までは10月27日がよい宮、28日が本祭りの日と決まっていたのですが、当屋の人が仕事を休まなければならなかったり、それぞれの町のみこしやたいこ台などのかつぎ手がなかなか集まらなかったりするため、

げんざいのように 10月最後の土曜日、日曜日に祭りをを行うように変こうされました。

このように名張秋祭りは、昔ながらの伝とうを大切にしながら、時代に合ったような工夫も取り入れて、今も続けられています。

2. 八日えびす

(1) えびす祭り

鍛冶町にある「蛭子神社」では、毎年2月8日に祭りが行われます。地元の人たちは、この祭りを「えべっさん」とよび、商売はんじょうを願って、お参りをする多くの人でにぎわいます。

この祭りに欠かせないのが、ネコヤナギの木のえだに、大ばんや小ばん・千両箱・つる・かめなどをかざった「吉兆」です。地元では「ケッキョ」とよばれ、祭りが近づくと、町の人たちが毎日集まって、みんなで作ります。祭りの日には、この吉兆をもとめて、神社のけい内に、大勢の人たちがならんで行列ができます。

また、えびす祭りには、たくさんのお店が出ます。なかでも、「ハマグリ」と「なえ木」のお店が出るのが、

この祭りの特ちょうです。昔は、海でとれるものと、山でとれるものを売り買いする市が、一と八のつく日に行われていたそうです。そのため、えびす祭り



蛭子神社



吉兆



ハマグリ



なえ木

は「八日えびす」ともよばれ、海でとれるハマグリと、山でとれるなえ木の店が出るそうです。

(2) 七福神

蛭子神社がある鍛冶町は、えびすや大黒などの神様で知られる「七福神」の町でもあります。2月の「えびす祭り」や10月の「名張秋祭り」には、町の人たちが七福神の面や衣しょうを身につけ、七福神おどりをしたり、家



七福神

や店などに福をよびこみながら回ったりします。こうして、七福神は多くの人たちに親しまれています。

3. 若子祭り

若子祭りは、滝之原地区の八幡神社に伝わる祭りです。毎年、1月9日に行われています。「若子」とは、前の年の1年間に滝之原地区で生まれた子どもや、むこ入りしてきた人たちのことをいいます。その人たちの成長や健康を願って矢をいる祭りです。はかますがたの結こんしていない男の人がわざと的はずしてはく手をあびます。この祭りは700年以上も前から続いていると伝えられていて、大切に受けつがれています。



若子祭り



名張市には、その他にも昔から伝わっているお祭りや行事がたくさんあります。みなさんも調べてみましょう。

【→P12,14】